

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

2019年
10月発行

No. 175

リビング・ウイル

ノンフィクション作家
久田 恵さん
放浪と介護の
波乱の日々

○新連載・電話・メール医療相談から

○田中桂子・受容協力医師の活動

○連載「四季の歌」村祭



一般財団法人
日本尊厳死協会

「インタビュアー」ノンフィクション作家

久田 恵さん

インタビュアー・構成／会報編集・郡司武 写真／白倉達也

放浪と介護の 波乱の日々でした

——今、タクシーを降りたら、牧草の匂いがありました。まさに牧歌的なところですね。

久田 そうなんです。一昨年の暮れに高齢者向け施設の取材で初めてここ（ゆいまゝる那須）に来て、気に入りましたね。すぐに入居の手続きをして、去年の2月にはもう、東京から移住しました。

——急だったんですね。どんなところが気に入ったんですか。

久田 取材に2回ぐらい来て、ゲストルームに泊まり、いろいろ話を聞きました。介護を受ける側の居住者が自分たちのセーフティーネットのことも含めて考えている稀なる施設だということは事前に知っていましたが、実際、ここに身を置いてみて、それを実感しました。私、室蘭で生まれ育ったんですが、夜、ぴゅーぴゅー風が吹いてね、それがなんか懐かしかったのと、風景も牧場が広がっていて「ミニ北海道」みたいだったんです。それで「ここで暮らそうかな」と衝動的に決めました。

——息子さんはどんな反応でした

か？

久田 うちは「自分の人生は自分で選択してよろしい」みたいなモットーで生きているので。でもね、息子からは「よく考えたの？」「もしそこが倒産でもしたらどうするの？」とかは言われましたね。

——移住を決めた時の気持ちは「ここが終の棲家」という感じでしたか。

久田 いや、そういう考え方はなかったですね。これまでの自分の人生を考えてみると、人生は予想していたようには運ばなくて「人生ってそういうもんだ」みたいな考えがどこか染みついているんでしょうかね。

「お前のことは諦めた。
存分に生きよ！」

——「人生は予想していたように運ばない」ですか、久田さんの人生を少し辿るようにお聞きしますが、室蘭から上智大に入学されただけですね。

久田 学生運動の真っ盛りで、大学がロックアウトになってまし

た。タテカン（立て看板）には「労働者と連帯せよ」とか大きく書かれてましたね。それで3年の20歳の時に大学を中退して、渋谷のトランジスター工場で働き始めたんです。

——NHK朝ドラの「ひよっこ」みたいなところですか。

久田 そうそう、まあ、あんな感じでしたよ。そこで1年くらい働きました。そのあと2、3年、いろいろアルバイトをしていた時に新聞広告を見て人形劇団「ひとみ座」に入ったんです。「住み込み可」に「ああ、いいな」と思って。ハハ。

——「ひとみ座」って「ひよっこりひょうたん島」の人形劇団ですよ。

久田 そうです。成功していた人形劇団ですよ。そこではプレハブみたいなところで共同生活するんですが、大学を中退した学生運動挫折組みたいな人が多かったんですかね。

——そこで脚本を書いていたんですか。

久田 それはだいぶ後になってからです。

——そんな久田さんに、ご両親はどう思っていたんでしょうか。

久田 そのころ両親は東京に戻っていて、父から、友だちを巡り巡って手紙がきて、そこに「お前のことはもう諦めたから、存分に生きよ！」みたいなことが書いてありました。ハハハ。母からも「あなたは好きに生きていい。ただ連絡先はわかるようにして、親子の縁を切るとかはしないで！」とありましたかね。

——ほおーっ、そうでしたか。親にそういう対応をされると子ども側も責任を感じて「ちゃんと生きよう」となりますね。

久田 そうなんです。まあ、でも、そんなこんなしているうちに萩窪で同棲を始めたんです。劇画の「同棲時代」が流行っていたころでした。それで息子が生まれて、いろいろありまして、シングルマザーの道を歩み始めたんです。非正規ですけど広告会社で働いたりしながら。

自分の人生を考えてみると、 予想していたようには運ばなくて……

——まさに波乱万丈というか「思うようには運ばない」というか……。それで小さな息子さんを抱えながら、その後、サーカス団に入ったりもしたんですね。

久田 そうなの。子どもが保育園の時に集団になじみなくて、そうなるの家で子どもを見なくちゃならないわけでしょ、お手上げ状態ですよ。勤めを辞めて「さあどうしよう」と。そんな時に「サーカスにでも入って生き方変えようか」とふと思ったんです。そこが私のヘンなどこなの。子どもに「ゾウさんとかアシカさんとかと毎日暮らすの、どう？」って聞いたたら「行く行く」って。それでサーカスの写真集なども出している、知り合いの本橋誠一さんに相談し、紹介してもらって入ったんです。——サーカスで何をされてたんですか。

久田 炊事係の下働きと雑用などです。1年と少しやってましたかね。それでその経験をあとで知り合いの編集者に話したら、「それ、書いてみたら」といわれ、それが『サーカス村裏通り』となり、大宅壮一ノンフィクション賞の候補になったんです。その頃、転勤で北九州の小倉に行っていた両親が東京に戻ってくることになり、その際に「一緒に暮らそう」と誘われ、20歳から18年ぶりで一緒に暮らすことになったんです。子どもを両親に見てもらいながら仕事をしていました。

「父と喧嘩しながら 母を介護しました」

——そうでしたか。長い、放浪のような旅もやっと終わったわけですね。

久田 まあ、そうですね。親に子

どもを見てもらえるようになり、それは助かりましたが、同居して1年後に母が脳血栓で倒れたんです。64歳で、右半身まひ、重い失語症になりました。介護を始めたその頃に書いたのが『フィリピーナを愛した男たち』でした。

るようにはなりませんでしたけど、母の体がだんだん弱ってきて、その後2年半ほど施設に入って亡くなりました。在宅で看る場合、介護とともに、まず家事をしなくちゃならないわけでしょ。父も家事をしましたが、けっこう喧嘩もしましたね。

——それが大宅壮一ノンフィクション賞をとったわけですね。

——どんなことで？

久田 そうですね。フィリピンに取材にも行きましたが、入院した母と子どもを父に見てもらわなければならぬわけで、父に土下座して、「フィリピンに取材に行かせてほしい」と頼みましたら「わかった。頑張ってみたらいい。行け」と言ってくれました。嬉しかったです。その恩義もあって、父の最期まで一緒に暮らし、面倒をみることになるわけです。

——倒れた後のお母さんは、どんなでしたか。

久田 在宅で10年以上看ました。最初の頃は失語症の訓練なども父と一緒にしていましたが、意思疎通はけっこう大変でした。それでも少しずつ慣れてきて意思は通じ

久田 急に怒ったりするんです。たぶん父なりにストレスを抱えていたんだと思います。ともかく、父は東大出の理系それも化学専攻で、私は文系。いろいろ食い違いますが、例えばご飯を炊く場合なども化学実験のように計量化するんです。それもすごく細かい。計算も早いし。レシピー見ながら、「お前、今、塩、何グラム入れた？」とか聞くんです。「ええっ？そんなのいいじゃない」とか、まあ、そういうくだらないことでの喧嘩でした。今になって、私も悪かったかなと思う時がありますけど。ただ子どものことは溺愛してくれました。父と喧嘩して、「私、出ていく」とか言ったりすると、



ひさだ・めぐみ

1947年、北海道生まれ。ノンフィクション作家。上智大学を中退し人形劇団に入り、その後さまざまな仕事を経て女性誌ライターに。シングルマザーが子育てしながら働ける場所を求めてサーカスに入団。その時の体験を描いた『サーカス村裏通り』でノンフィクション作家としての地位を確立。1990年、『フィリピーナを愛した男たち』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。2018年、栃木県那須町のサービス付きコミュニティ住宅「ゆいま〜る那須」に移住。『シクスティーズの日々』『100歳時代の新しい介護哲学』など著書多数。

売って、施設のすぐ近く、歩いて3分くらいのところに家を求めて越してきました。

——その施設に2年半ほどいて亡くなったということですね。

久田 そうですね。最後は体力がどんどん落ちてきて、痰の吸引などの介護にずっと追われてましたね。施設に私のご飯も注文しておいて、母のそばで食べてました。昼は父がずっとそばに寄り添っていましたね。倒れてから12年ほどで亡くなったわけですが、それって、ああいう病気で倒れた人の平均的な年数のようですね。仕方なかったのかな、と今では思っています。

——久田さんのごきょうだいの方は、介護にタッチしなかったんですか。

久田 基本的には私と父とでの介護でしたね。私は3人きょうだいでしたが、兄は海外赴任していて、義姉は一人娘なので、近くに住む自分の両親を介護しなくちゃならない、姉は時々来てくれましたけど、夫の両親の世話をしなくちゃ

父はご飯を食べなくなりまして。口をグツと結んで……

ならない。「なんで私だけ」って思ったこともありましたよ。けど、みんな、それぞれいろんな事情を抱えていたんです。

「父は『手を握って俺を看取れ』と言うんです」



サ高住の「ゆいま〜る那須」は、那須高原ののびやかな敷地に木造住宅が5棟70戸、それに食堂棟、介護棟、共用棟が「集まりすぎず散らばりすぎず」配置されている。居住者が持ち寄った本を利用しての「図書館」もあった

——付きっ切りで痰を吸引するのも大変ですよ。誤飲の危険性もありますし。

久田 それで、医師に胃ろうを勧められたんです。「家族で決めてください」って。そしたら父が、『自分ならどうして欲しいか』って基準で判断すると、『胃ろうはして欲しくない』。だからお母さんにも胃ろうはしないし、自分の時も胃ろうはしないでいい』って言うんです。それから少しして母は亡くなりました。77歳でした。私は一晩、母を抱きかかえていました。父は「お母さんは、娘に抱きかかえられながら亡くなったんだから幸せだ」って言うんです。けど、私は、「失いたくないのに、何が幸せか」と思いました。それはとても重い体験ですよ、それを「幸せだ」って言われてもね。そんな父も、母が亡くなったら調

子を崩してしまつて……。心身ともに、ですか。

久田 そう。父は母より6歳ほど上でしたが、急に精神的にも不安定になったという。喪失感が大きかったんでしようね。タクシーを呼んで、「今から位牌を買いに行く」とかへんなこと言うんです。それはいったん良くなったんですが、でも、目に見えて衰えていき、母の死から8年後に、91歳で亡くなりました。母の入っていた施設でした。

——お父さんの最期はどういう状態でした？

久田 父は用意周到な人で、自分の最後については、「胃ろうはしない」「過剰な延命治療はしない」と私に告げていました。兄と姉と私の三人の子どもにメッセージが書かれた遺言書も残し、財産関係もすべて整理を済ませていました。そして、私に「お母さんが亡くなった時のように手を握って看取れ」って言うんですよ。「えーっ」と思いましたが、一応「はい、やります」と約束をしました。そ

れから、ある時、父はご飯を食べなくなりました。口をグツと結んで。父の強い意思だったんでしようか。それで、私は父の部屋にベッドを入れて、そばで寝るようにしました。そんな、みんなが寝静まった真夜中、私が手を握っているなかで、父は亡くなりました。——久田さんの人生を振り返りながら、今のお話をお聞きしていると、なんか人生の大団円のような感じもしますね。今日は、いろいろ踏み込んだお話をお聞きしました。ありがとうございました。

インタビューを終えて

大学を中退し人形劇団へ。同棲、シングルマザー、幼子連れでのサーカス団入団、大宅壮一賞受賞、親との没交渉から修復、介護……。まさに波乱の「女の一生」を間近に見る思いでした。その時々久田さんを強く支えたのは「人生は予想していたようには運ばない」との諦観であったか。恐るべし、経験則。

会報編集・郡司武

LW研究会で「人生会議」の理解を深めよう

私たちは、生まれてからその幕を下ろすまで、日々、物語Ⅱストーリーを紡いでいきます。人生の節目節目、岐路にさしかかったときなど、家族や周りの人たちの助言を受けたりしながら、進むべき道を決めてきました。人は一人では生きて行けません。支え合いが必要です。特にそのストーリーを完結する人生の最終段階においては、周囲の支えと理解がより大事になってきます。

国は今、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）という制度を推進しています。ACPとは、万が一の時に備えて、本人が大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自身自身で考えたり、信頼する人たちと話し合ったりするプロセスのことです。そのACPをより親しみやすい愛称に、との意図から「人生会議」という呼び名になり、11月30日を、「いい（11）看取り（30）」にかけ、人生会議の日としました。今回はその日に「ACP」をテーマに開催することになります。では、ACPとリビング・ウィルは、どのような関係になるのでしょうか。そうしたこともテーマに、「人生会議」の意義について、理解を深めていきたいと思います。

第8回日本リビングウィル研究会

テーマ

物語としての人生会議(ACP)

——リビング・ウィルを入口に——

日時 2019年11月30日(土)
午後1時～4時半

会場 東京大学伊藤国際学術研究センター（地下2階）
伊藤謝恩ホール（東大構内、赤門横。東京都文京区本郷7-3-1）

定員 400人（事前申し込みは不要）、無料

スケジュール

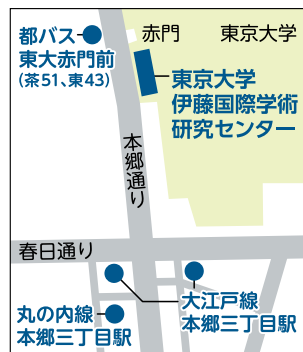
第1部 基調講演「物語としての人生会議(ACP)」(仮題) 柳田邦男さん
専門分野からの講演 三浦久幸さん、板井孝彦さん、長尾和宏さん

第2部 パネルディスカッション 登壇者全員

人生会議について、様々な立場、これまでの経験から、幅広く具体的に語り合ってください。

登壇者 柳田邦男さん(ノンフィクション作家)
三浦久幸さん(国立長寿医療研究センター、ACP研究会代表)
板井孝彦さん(宮崎大学医学部生命・医療倫理学分野教授)
長尾和宏さん(長尾クリニック院長、日本尊厳死協会副理事長)

○コーディネーター 満岡 聡(日本尊厳死協会理事、満岡内科クリニック院長)



座れない人も出るほどだった
昨年の会場の様子

開催に関する最新情報は
協会ホームページでご確認ください。 <https://www.songenshi-kyokai.com/>

私の希望表明書

私は、協会発行の「リビング・ウィル（終末期医療における事前指示書）」で、延命措置を受けたくないという意思をすでに表明しています。それに加えて、人生の最終段階を迎えた時に備え、私の思いや具体的な医療に対する要望をこの文書にしました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 年 月 日 本人署名

希望する項目にチェックを入れました。

1. 最期を過ごしたい場所（一つだけ印をつけてください）
- ☐自宅 ☐病院 ☐介護施設 ☐分からない
- ☐その他（ ）
2. 私が大切にしたいこと（複数に印をつけても構いません）
- ☐できる限り自立した生活をする ☐大切な人との時間を十分に持つこと
- ☐弱った姿を他人に見せたくない ☐食事や排泄が自力でできること
- ☐静かな環境で過ごすこと ☐回復の可能性があればあらゆる措置を受けたい
- ☐その他（ ）

※以下「3」と「4」は、「ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りします」という表現では伝えきれない希望や、「止めてほしい延命措置」の具体的な中身を明確にするためのものです。

3. 自分で食べることができなくなり、医師より回復不能と判断された時の栄養手段で希望すること（複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。）
- ☐経鼻チューブ栄養 ☐中心静脈栄養 ☐胃ろう ☐点滴による水分補給
- ☐口から入るものを食べる分だけ食べさせてもらう
4. 医師が回復不能と判断した時、私がして欲しくないこと（複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。）
- ☐心肺蘇生 ☐人工呼吸器 ☐気管切開 ☐人工透析 ☐酸素吸入
- ☐輸血 ☐昇圧剤や強心剤 ☐抗生物質 ☐抗がん剤 ☐点滴

5. その他の希望

【用語の説明】

- 心肺蘇生**：心臓マッサージ、気管挿管（口や鼻から気管に管を入れる）、電気的除細動、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与などの医療行為。
- 人工呼吸器**：自力で十分な呼吸ができない状態の時に、肺に機械ポンプで空気や酸素を送り込む機器。マスク装着のみで行う場合もあるが、重症の際はチューブを口や鼻から入れる気管挿管を行う。1～2週間以上続ける場合は、のどに穴を開ける気管切開（喉仏の下から直接気管に管を入れる）をしてチューブを入れる。
- 胃ろうによる栄養補給**：内視鏡を使い、局所麻酔で胃に管を通す手術を行う。その管を通して栄養を胃に直接注入すること。

岩尾總一郎理事長が三選
日本尊厳死協会の新体制が決まる

一般財団法人日本尊厳死協会の評議員会、理事会が6月29日、都内本郷の本部事務局で開かれ、新しい役員等が決まり、新体制がスタートしました。理事長（代表理事）には岩尾總一郎氏が三選。副

理事長には長尾和宏氏が三選、青山邦夫氏が再選、野元正弘氏が新しく就任しました。（別表参照）今回は4年任期の評議員・監事と2年任期の理事が同時に改選され、10人だった評議員が7人（す

べて留任）に、15人いた理事は12人（3人が新任）に減員。監事は留任した2人に加え、3人体制に増員されました。選任されたばかりの評議員会で、「2018年度事業報告および計算書類等」が承認されました。

会員数の年度別推移は、2012年度の12万6000人をピークに少しずつ減る傾向にあり、2019年3月末の会員数は10万9155人。新規入会者数は

年間では前年並みの6250人ほどでしたが、死亡を含めた退会者数が7250人で、新規入会者数を1000人ほど上回りました。しかし、その幅は圧縮傾向にあることが報告されました。

2018年度の経常収益は1億5500万円で、経常費用が1億6600万円。1000万円強の赤字でしたが、この赤字幅も圧縮傾向にあると報告されました。

2019年度日本尊厳死協会役員等名簿

【顧問】

牛尾治朗 ウシオ電機株式会社会長
扇 千景 元参議院議長
奥田 碩 元トヨタ自動車株式会社会長
倉本 聰 脚本家・作家
小泉純一郎 元首相
吉永みち子 作家

【代表理事】

岩尾總一郎 医師、医療法人グループ副理事長

【副理事長】

青山邦夫 弁護士
長尾和宏 医師、医療法人裕和会理事長
野元正弘 医師、愛媛大学客員教授

【理事】

安達俊郎 会社役員
小川純人 医師、東京大学大学院准教授
川名理恵子 公益財団法人常務理事
北村義浩 医師、KYK医学研究所代表
近藤和子 看護師、マザーリング&ライフマネージメント研究所所長
丹澤太良 公益社団法人理事
友納理緒 弁護士、土肥法律事務所
満岡 聰 医師、医療法人満岡内科クリニック理事長

【監事】

藤嶋 喬 元会社役員
茂木敬司 会社顧問
和田義博 公認会計士、公認会計士事務所

【評議員】

相澤好治 医師、北里大学名誉教授
伊勢田暁子 看護師、衆議院議員政策担当秘書
北村 聖 医師、公益社団法人地域医療振興協会シニアアドバイザー
鳥海房枝 保健師、NPOメイアイヘルプユー理事
信友浩一 医師、九州大学名誉教授
丸尾多重子 NPOつどい場「さくらちゃん」理事長
宮島俊彦 岡山大学客員教授

【支部長】

江端英隆 医師、社会福祉法人彩世会理事長（北海道）
阿見孝雄 元東北支部副支部長（東北）
丹澤太良 理事、公益社団法人理事（関東甲信越）
野嶋庸平 新聞社事業委員（東海北陸）
長尾和宏 副理事長、医師、医療法人裕和会理事長（関西）
正木文治 株式会社代表取締役（中国地方）
野元正弘 副理事長、医師、愛媛大学客員教授（四国）
原 信之 医師、国立病院機構福岡東医療センター名誉院長（九州）

LW受容協力医師制度の展望

ルポ——がん診療の拠点・都立駒込病院で 緩和ケアを担う田中桂子医師の思いと活動

「痛みの辛さを緩和できる専門医になりたい」と、遠回りして選んだ、この道。

「早期からの緩和ケア」を併用してがん治療にあたることで、生活の質改善に取り組む。

都立駒込病院の11階にある緩和ケア病棟の庭園ベランダからは、東京スカイツリーと東京タワー、遠くに富士山も望める。プラランターの小さな花々が、青空のもと、さわさわとそよいでいた。

緩和ケア科部長・センター長の田中桂子医師（62）に案内され、緩和ケア病棟を回った。「床がじゅうたんでしょ？ できるだけ家にいるような感じで過ごしていただこうと……」。ソファの傍にはピアノが置かれ、お茶を出すカウンターや書棚も並んでいる。行き交う看護師さんも白衣ばかりではない。赤や青の柄もので「普段感」

をかし出す。壁一面に、まさに壁画のように、大きな絵が掲げられていた。

「この絵は、女子美大の学生さんにイメージを言って、描いてもらったんです。『この病棟に入る人たちは、がんの積極的な治療ですでに卒業された方々なんですよ』と伝えて。熱心に私たちの話を聞いて、こんなに立派に描いてくれたの。私も大学まで行って、描いているところを見学させてもらいました。指導していただいた教授も学生さんも、これを描いたこと、誇りに思ってくれているようです」



女子美大の学生が描いた力作を指し示す田中桂子医師

OLを10年ほど経験し、「医師への道」が芽生える

「こもれば」「ひだまり」「これから歩む道」と題された3点の大きな絵が、部屋の空気をやさしく包んでいた。

院は、総合病院の利点を生かし、各科を横断したチーム医療体制を作り、治療の相談だけでなく、心の問題、就労への不安、治療費などお金の心配事などにも対応する「患者サポートセンター」という新しい窓口を設け、生活全般の支援に力を注いでいる。

そんな駒込病院に田中桂子医師がきたのは11年前。「その前は静岡がんセンターの緩和ケア科にいたんです。駒込に緩和ケアの専門病棟を立ち上げるとい

う構想が持ち上がった。ここに来るようになりました」。

医師への道は「遠回りだった」という。慶応の文学部独文科を卒業後、外資系の会社でOLを10年ほど。その間、ドイツに何度も行き、車いすの人が普通に生活し、社会がヘルプする体制を目にし

た。周りの親しい友だちを亡くしたりもする、そんな経験の中で「医師への道」が芽生え、具体化していった。医学部を卒業後、柏の国立がんセンター東病院で、がん（肺がん）と緩和ケア、サイコoncology（精神腫瘍学。がんと精神との関係の学問）の3つを学んだ。当時、肺がんは、今よりもずっと予後が厳しい状況で、痛みに苦しんでいる患者をいっぱい診てきた。そんな中で「痛みの辛さを緩和できる専門医になりたい」と強く思うようになったのだという。

「早期の緩和ケア」併用で生存期間延長のデータも

「緩和ケアは、がんの終末期に受けるもの」と誤解している方も多いように思いますが……と聞くと、「それは違います」と田中医師。

「がんの治療中から緩和ケアを必要とされる方も多くいます。例えば治療に伴う嘔吐やだるさ、痛みなどを緩和してあげると、がん治療に取り組む意欲も湧いてきますし、また、仕事やお金の不安が解消されれば、安心して納得した治



都立駒込病院は都内に2カ所しかないがん診療連携拠点病院の1つ

駒込病院の正式な名称は「がん・感染症センター都立駒込病院」。都道府県がん診療連携拠点病院でもある。拠点病院は都内には、がん研有明病院とここだけ。有明にも緩和ケア病棟がある。

5年前、駒込病院は新しい理念を掲げた。「医療を通して人がその人らしく生き抜くことを支援する」というもの。自分が生きている姿を「そのままいいんだ」と思えるように医療支援していくこと、だという。がん患者とその家族は、さながら「重たい荷物を抱えた状態」にあるようなもの。そうした患者・家族に対して駒込病

療を選択することができるようになります」

こうした「早期からの緩和ケア」を併用してがん治療にあたることで、生活の質が改善するだけでなく「生存期間が2・7か月延長したというデータもあるんです」と、田中医師は言った。

※

※

自分のがんの状態を十分に理解し、積極的な治療を行うことが困難な患者さんたちが静かに入院生活を送る緩和ケア病棟。駒込病院には22床あり、平均在院日数は30日前後。年間200人以上の方がここで亡くなるという。ご家族や、田中医師たち専門の緩和ケアスタッフに見守られて。

会報編集部・郡司武

LW受容協力医師とは

当協会のLWの趣旨に賛同し、氏名を公表して会員の力になりたいと表明された医師。現在2000人近くが登録。登録医師には協会が「認定証」を発行。最新リストは支部HPから閲覧することができます。



(右) 11階にある庭園ベランダには四季の花が咲き競い、眺望が素晴らしい(上) 女子美大生の心が込められた大きな壁画に囲まれた静かな憩いのルーム

LWのひろば

「今を楽しむ」の心で

大蔵 愛 71歳 大阪府

「私は40歳まで生きていたのだろうか」——小学校低学年だった私は当時、そんなことを思っていました。近所に遮断機のない踏切があり、そこでレールに耳をつけて列車の来るのを待ったりして友だちと遊んでいたころ、友だちの家の庭にはトウガラシが植えてあり、その真っ赤に熟れた実を見つめながら、「私は20歳、30歳を過ぎ、40歳まで生きられるだろうか」と、思ったもので

した。

その思いは、40歳になるまで、真っ赤なトウガラシを見るたびに蘇るものでした。そんな私が40歳になった時、ある種の感慨があつてアイバング登録をしました。そして50歳で尊厳死協会に入会し、60歳で臓器提供カードを持ち、70歳を過ぎた今、いかに上手に死ぬべきかを考えています。

現在、これといった病気もなく元気に過ごしていますが、いつ何が起こるかわからない年代です。先を憂えず、「今を楽しむ」の心をモット

ーに、お世話になっている方がたや家族に感謝しながら生きていこうと思っております。

夫を送って20年の思い

草薙照子 93歳 神奈川県

歯科医師として休診日を、在宅の高齢者や老人病院への訪問診療に当てていたなかで、生きる意味を考えさせられ、夫とともに平成3年入会しました。

常に健康に留意し定期検診も欠かさなかった夫でしたが、便秘や体重減少などを訴えるようになり、検査入院の結果、「すい臓がん末期、予後1か月」の告知。「手術は無理、抗がん剤の効果も期待できない」とのこと。

大変な驚きのなか、子どもたちと相談し、本人には告知しないことにしました。そして医師に、尊厳死協会の宣言書を提示し、「苦痛がないよう万全の対症療法を」とお願いしました。苛立ち、医師への質問を繰り返していたようですが、夫は死の前夜、「また明日来てね」と孫や子どもたちの手を握っていました。しかし翌朝、言葉を交わすことも

更ながら、この協会を作ってくださいった方がたに感謝し、尊厳死協会の会員であることに、心の安らぎを覚えております。

「ピンコロ地蔵様」を建立

佐伯清美 90歳 山口県

僕は今、90歳ですが、いたって健康です。50年間の東京暮らしを卒業し、65歳でふるさと山口に「Jターイン、里山再生活動をして25年が経ちました。夢中になって自然の中で暮らしながら、子どもたちへ自然体験のできる遊び場施設を作ってやっているうち、身内や同級生たちが次々とあの世へ旅立っていったままです。

自分の死も真剣に考えるようになってきました。幸い僕は、早くから尊厳死協会に入っておりますので、そんなに不安はありません。ただ常々、死の間際までピンピンと生きて、コロリと逝きたいものだと思っております。

3年前、過労がたたって、心臓疾患で危うく命を落とすところでした。その際、僕の一番嫌いな、体に管が巻き付いたスパゲッティ人間になっ

なく旅立ってしまいました。

夫を送ってから20年が経ち93歳になった私ですが、協会会員証とリビングウィルは絶えず身から離さず、家族にも伝え、生きている実感の持てる人生を全うできますことを、尊厳死協会に託させていただいています。

会員であることに安らぎ

小林美智代 84歳 埼玉県

会報174号をじっくり拝見させていただきました。佐々木常夫氏の巻頭インタビューが、しみじみと胸に沁みました。また「ルポ横浜・寿町の山中修医師」のお話、最新のあり方などいろいろ考えさせられました。

「人生百年」と言われるようになり、ますます長生きの時代になってきています。私はすでに84歳、もう十分に生きました。このところ私の一番考えることは「死」です。「神様、どうぞ、そちらの世界に呼んでください」と、日々祈っています。祈りながら、日々を精一杯に生きておりますし、生かされている意味を考えながら暮らしております。そして今

ていたのです。この時、里山活動と一緒にしている相棒の女性(71)に「死ぬのなら自然の中で。一刻も早く病院を抜け出したい」と懇願すると、彼女は主治医に頼んでくれ、おかげで今の元気な僕があるのです。それから僕は「ピンコロ地蔵様」を里地の一角に建立し、朝晩祈願しています。女性も僕の死生観を納得してくれているので、尊厳死協会に入会するそうです。

まだまだ実現したい夢がある僕は、頑張って生き抜こうと思っています。

編集部より

● 投稿の募集 テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの日々」など何でもけっこうです。600字以内で。掲載(写真含む)の方には図書カードを差し上げます。手紙またはファクス(03-3818-6562)、メール(info@songenshi-kyokai.com)で。

● 写真の募集 1月号に相応しい写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信(アドレスは同上)、またはプリントを郵送してください。いずれも、協会本部会報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは11月15日です。

秋色ひっそり

黄葉が彩る
萩の松陰神社

撮影/鶴養侑季子(横浜市)



季節を感じさせる1枚の写真と
懐かしい唱歌でつづるページです

四季の歌

——その風景と背景

第十回

村祭 ● 文部省唱歌



むら ちんじゅ かみさま
村の鎮守の神様の
きょう 今日 はめでたい御祭日。

どんどんひやらら、

どんひやらら、

どんどんひやらら、

どんひやらら、

あさ 朝から聞える笛太鼓。

とし 年も豊年満作で、

むら 村は総出の大祭。

どんどんひやらら、

どんひやらら、

どんどんひやらら、

どんひやらら、
よる 夜まで賑う宮の森。

おさ 治まる御代に神様の
あお めぐみ仰ぐや村祭。

どんどんひやらら、

どんひやらら、

どんどんひやらら、

どんひやらら、

聞いても心が勇み立つ。

(『尋常小学唱歌(三)』明45・3)より

この「村祭」は長年、作詞・作曲者不詳の文部省唱歌とされてきたが、近年になって、葛原しげる(1886～1961年)作詞、南能衛(1881～1952年)作曲ではないかとされている。葛原は童謡詩人・作家として知られ、「ぎんぎんざらざら夕日が沈む…」の「夕日」などの作詞も手がけている。一方の南は「横浜市歌」の作曲者であり、日本で初めて混声合唱団を作った人ともされる。

「どんどんひやらら…」のオノマトペ(擬声語)が効果的で、笛と太鼓の音がリズムカルに体に響いてくるようだ。村の鎮守は「村社」のことで、日本に4万数千あるとされる。小学校が2万ほどだから、日本の津々浦々に鎮座し、日本人の「心の社」となってきた。

東北支部

☎ 022-217-0081 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.com

第23回東北支部弘前大会
「市民公開講演会」

日程◎11月3日(日) 午後1時半～4時
会場◎弘前市・土手町「コミュニケーションプラザ」(JR弘前駅から徒歩5分。循環バス「下土手町」下車、徒歩1分)

テーマ 納得の在宅緩和ケア

総司会◎鈴木秀和 (東北支部理事・ひでか
ず胃腸科内科)

挨拶◎「リビング・ウイルで、安心を」
阿見孝雄 東北支部長

基調講演
「大往生するための在宅医療
～大往生の秘訣教えます～」

座長◎石澤 誠
(東北支部理事、石澤内科胃腸科)
講師◎坂本祥一
(坂本アレルギー呼吸器科医院院長)

パネルディスカッション
「納得の在宅緩和ケア」

座長◎伊東重豪 (伊東クリニック)
パネリスト◎馬場祥子 (ときわ会病院緩和
ケア科)／須郷敏子 (訪問看護ステーション
共)／石澤 誠／坂本祥一
定員◎先着180人(無料)
後援◎青森県医師会、弘前市医師会
お問い合わせは東北支部へ

第34回「仙台駅横
リビング・ウイル 交流サロン」

日程◎10月11日(金) 午後1時～2時半
会場◎「せんだいアエル」6階特別会議室
(JR仙台駅西口 徒歩3分)

テーマ「暮らしに生かす!リビング・ウイル」
お誘い合って、どなたでもどうぞ。参加費無料

出前講座

日程◎10月25日(金) 午後6時～7時
会場◎ホテル法華クラブ仙台的会議室
テーマ◎「尊厳死について」
定員◎約22人(対象は東北大学法学部東北在住
OG会「東北芝蘭会」)

東北支部 活動報告

「リビング・ウイル」から、
すべてが始まる。

少し、危惧することがあります。
このごろ、「リビング・ウイル」自体の主張が、どこか影が薄くなっているのではないのでしょうか。このような心配です。
「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」や「人生会議」という言葉、マスコミの報道や雑誌などで、このごろよく耳にし、目につきますね。ところが、肝心の「リビング・ウイル」自体を語られることが、ちょっと少なくなっているように感じてなりません。私には、本人自身の明確な「リビング・ウイル」があってこそ、「ACP」や「人生会議」ではないのだろうか。このように思えるからです。

日本尊厳死協会では、40年以上にわたって、日本で、「リビング・ウイル」への理解の深まりとその普及・登録に、先輩の皆様が営々と努力してまいりました。このことは、今さら、私が申し上げるまでもない、まさに歴史的な実績です。平たく申せば、いわば日本の「リビング・ウイル」活動の、「元祖・本家」のような存在、とでもいえましょうか。この当協会の基本姿勢に賛同し、私は入会。今年の7月から、東北支部の支部長に選任されました。「健やかに生き、安らかな最期を」が、私たちの願いです。そのための活動の基本のすべては、「リビング・ウイル」への理解と覚悟から始まっているのではないのでしょうか。

東北支部の新支部長として、まずはこのことを、再びぜひ確認していただきたいのです。支部活動のいろいろな催しや講演会などで、折にふれ、しつつこいくらい訴えてまいりたいと存じます。

さて、ここまでお読みになって、改めて、ふと感じられたことがございますか。「ところで、『リビング・ウイル』って、どういうことだったのかな?」と。

このような、改めての質問や疑問も、遠慮なく、私や東北支部の支部理事にぶつけてください。ふとした思いからの問いかけが、あなたの人生に、新たな「安心」を生む契機となるかもしれません。なぜなら、みなさまとのこれまでの関りの体験から、私たちには「リビング・ウイル」がもたらす「安心」への確かな実感があるからです。

とにかく、「リビング・ウイル」から、私たちの活動のすべてが始まるのです。

(東北支部長 阿見孝雄)

北海道支部

☎ 011-736-0290 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.com

シンポジウム
「尊厳死を語るつどい」

日程◎10月15日(火) 午後1時半～4時
会場◎札幌エルプラザ 3階ホール
札幌市北区北8条西3丁目

テーマ「延命治療と尊厳死」

シンポジスト◎宮本礼子 (江別すずらん病院
認知症疾患医療センター長)

テーマ「在宅で看取る高齢者の命」

シンポジスト◎下村笑子 (札幌認知症のひと
家族の会副会長)

テーマ「看取る人・看取られる人」

シンポジスト◎武田純子 (グループホーム福
寿荘総施設長)

定員◎320人(無料、予約不要)

お問い合わせは北海道支部へ

中国地方支部

☎ 082-244-2039 ✉ chugoku@songenshi-kyokai.com

公開講演会

日程◎10月6日(日) 午後1時半～3時半
会場◎松江テルサ 大会議室
(島根県松江市朝日町478-18)

前半講演◎「自然な死は苦しくない」

講師◎松本祐二 (松本医院院長・中国地方支部理事)

後半講演◎「生かされて生きる命」

講師◎飯塚大幸 (一畑薬師総本山一畑寺管長)
定員◎120人(先着順)
※講演のあとにアンケートがあります。
お問い合わせは中国地方支部へ電話かFAXで。

出前講座を活用ください

支部理事が、尊厳死協会の取り組みの状況やリビングウイル(LW)、終末期の最終段階とともに考える情報などを携えて、ご準備いただいた会場にお伺いします。支部で年に1、2回開催している公開講演会では、どうしても大勢の方を対象とした話になりますが、出前講座では小規模な、多くても数十人程度、5人以上のグループを想定しています。膝を突き合す距離間で、茶話会程度の気軽さで直接のやり取りができればと思っています。協会で作成していますLWに関するDVDやLWノートなど携えて、ご要望に沿う内容でお話

石狩南部地域懇話会 後期研修会

日程◎11月9日(土) 午後1時～3時
会場◎千歳市社会福祉協議会(予定)
(千歳市東雲町1-11)

テーマ「認知症を最期まで堂々と生きる」
講師◎宮本礼子 (江別すずらん病院 認知症疾患
医療センター長)

定員◎30人(無料・予約不要)

お問い合わせは北海道支部へ

尊厳死協会の「人生会議」

日程◎第7回「認知症と尊厳死」10月18日(金)
第8回「認知症と尊厳死」11月19日(火)
いずれも午前10時～12時

会場◎札幌エルプラザ(札幌市北区北8条西3丁
目。JR札幌駅北口近く)

定員◎先着24人(予約不要)。

お問い合わせは北海道支部へ

をしたいと思っています。詳細については支部までお問い合わせください。

中国地方支部 活動報告

支部内のLW受容協力医が230人余に!

昨年度は、島根、山口、岡山、鳥取の4県の医療機関にLW受容協力医への登録依頼文を発信してきました。今年度は主に広島県内の医療機関に向けて登録のご案内を進めています。8月末時点ですが、30件近くの新規登録をいただき、中国地方支部圏内では、LW受容医として230人余りの登録をいただきました。会員15人あたり1人のLW受容協力医の登録をいただいている計算になります。

人生の最終段階に自分の考えや気持ちを理解いただける医師が身近にいてくださることは、安心や幸福度につながると考えており、支部としては引き続きLW受容協力医への登録を働きかけていきます。協会にLW受容医として登録していただけていない「かかりつけ医」、「寄りそ医」がいらいしましたら、中国地方支部にご紹介ください。支部よりLW受容協力医登録のご案内を直接郵送させていただきます。

リビングウイル研究会 東海北陸地方会

日程◎10月27日(日)午後1時半～4時

会場◎愛知県医師会館9階大講堂
名古屋市中区栄(地下鉄名城線・東山線
栄駅13番出口から徒歩5分)

テーマ「人生の最終段階を見つめて
～ACPと地域連携」

基調講演◎「在宅医から見た
ACPの進め方」

講師◎家田秀明
(みずほ在宅支援クリニック院長)

パネルディスカッション◎家田秀明、野田智子
(医療ソーシャルワーカー、江南厚生病院地域
医療連携室長)／伊佐治知加子 (訪問看護師
管理者、愛知たいようの杜看護ステーション
ふれあい)

定員◎200人(無料・申込不要・先着順)

共催◎愛知県医師会、名古屋市医師会

後援◎中日新聞社

※日本医師会生涯教育認定講座

地域サロンへどうぞ

日程◎10月22日(火)、12月24日(火)
ともに午後1時半～3時

会場◎名古屋市中村区の青木記念ホール
(地下鉄東山線中村公園から徒歩5分)

人生の最終段階での医療、在宅介護などを語り合
いませんか。会員以外の方も参加いただけます。
ぜひお誘い合ってお越しください。希望者は支部
までご連絡を。無料

東海北陸支部 活動報告

百貨店の終活フェアで 「尊厳死」をPR

親や自分の老後について「何から準備をすれば
いいの」「子どもや孫に迷惑をかけたくない」な
どの不安や心配に答える第3回「終活フェア」が8
月の5日間、JR東海名古屋駅南の名鉄百貨店7階
催場でありました。主催者の中日新聞社から依頼
を受けた東海北陸支部は「健やかに生き、安らかに
逝く(尊厳死)」をテーマにセミナーを開きました。

セミナーは期間中、午前と午後の4回開かれ、
歌手の加藤登紀子さんや人工知能研究者の黒川
伊保子さん、ラジオパーソナリティー、相続診断
士らが講演。私はテレビなどで活躍する女性司会
者との対談形式で行いました。5日間のフェア来
場者は約5,400人。セミナー会場には3,300人が。

この中で私は「尊厳なく無意味に生きるためだ
けの延命措置は望まない」を掲げる尊厳死運動、
オランダなどの安楽死、スイスから世界に広がる
自殺ほう助の違いについてまず説明。尊厳死の根
幹であるリビングウイル(LW)はACP(アドバン
ス・ケア・プランニング＝患者、家族、医療関係
者の事前協議)の土台でもある、と話しました。
ACPは、これから国策ともなる終末期医療。なら
ば、ということで「ACPを聞いたことがあります
か？」と質問をすると、40人近い参加者の中で手
が上ったのはわずか2人。

ACPの愛称「人生会議」の
普及が心配になりました。

フェア会場には葬送や
相続、老後資産などのブ
ースが店開き。愛知県警察本
部のブースでは、振り込め
詐欺や交通事故防止が関
心を呼んでいました。
(支部顧問・小林 司)



公開講演会 in 横須賀

日程◎11月17日(日)午後1時半～4時半

会場◎ヴェルフよこすか(勤労福祉会館)ホール
京急線横須賀中央駅東口から徒歩5分
☎046-822-0202

講師◎鈴木裕也
(日本尊厳死協会元副理事長、医学博士)

テーマ「健やかに生き安らかな
最期を迎えるために
～リビングウイルと人生会議」

講師◎千場 純 (医師、社会福祉法人心の会
三輪医院院長)

テーマ「わが家で最期を
～“納得と満足”の人生の花道”を
歩くための心得～」

定員◎200人(無料・申込不要・先着順)

かすかべ遊学フェスティバル

日程◎10月13日(日)午後1時半～3時半

会場◎春日部市民文化会館 小会議室2
東武野田線春日部駅東口から徒歩11分
春日部市粕壁東2-8-61
☎048-761-5811

テーマ「リビングウイル／
人生会議についてのお話
～人生100年時代の終活について
皆さんで考えましょう～」

講師◎支部理事を予定

定員◎50人(無料・申込不要・先着順)

横須賀地域包括ケア フォーラム セミナー開催

日程◎11月16日(土)午後12時50分～13時50分

会場◎神奈川県立保健福祉大学内
京急線県立大学駅から徒歩7分
横須賀市平成町1-10-1
☎046-828-2500

講師◎支部理事を予定

定員◎50人(無料・申込不要・先着順)

《地域サロン》のお知らせ

サロン in 本郷

日程◎10月11日(金)、26日(土)

11月8日(金)、22日(金)

12月13日(金)、21日(土)

いずれも午後1時半～3時

会場◎支部事務所 文京区本郷2-27-8
太陽館ビル5階 日本尊厳死協会内(地下
鉄丸ノ内線大江戸線本郷三丁目駅からす
ぐ)。電話予約が必要です。支部までお願い
します。

サロン in 小山

日程◎10月12日(土)午後2時～4時

会場◎小山市立生涯学習センター 第1セミナー室
小山市中央町3-7-1 ロブレ6階
JR小山駅から徒歩1分
☎0285-22-0500

定員◎30人(無料・申込不要・先着順)

関東甲信越支部 活動報告

3年ぶりに長野市で 公開講演会

梅雨がまだ明けない7月12日、長野市では3年ぶ
りとなる公開講演会を市内ホクト文化ホールで開
催しました。

まず尊厳死協会の長尾和宏副理事長が、厚労
省の施策である「ACP/人生会議」について話しま
した。何度も本人や家族、医療関係者らが話し合
うのは大切だけれど、その中核となるのは、やはり
「本人の意思」つまりリビングウイルなのだ、と力
説しました。

続いて講演を行った井益男・い内科クリニック
院長は、在宅医療を実践している立場から「住み
慣れた地域で人生を安らかに全うするには」と題
して話されました。それには、「何よりも地域住民
同士の助け合いが必要です」と穏やかな口調で説
き、NPO法人「新田の風」を立ち上げて手助けを
必要としている方々への支援を開始したこと、また
SOSを受け付ける「よろず相談所」を充実させる
活動を行っている現状などを紹介しました。印
象的だったのは「自分の口・自分の手で食べてい
る人はまず死なない」という言葉でした。

講演後の質疑応答も活発で、3時間が短く感じ
られる充実した講演会でした。(吉成健吉)

モルヒネは
鎮痛薬の王者 あなたの痛みはとれる

編著 日本尊厳死協会 発行 中日新聞社

医療用麻薬を適切に使用した緩和医療は会員の願いです。



1100円(税・送料込)。書籍名、お名前、住所、会員の方は会員番号を明記。

代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に。

一般公開講演会

日程◎11月2日(土) 午後1時半～3時

会場◎愛媛県美術館講堂(松山市堀之内)

テーマ「**自分らしい逝き方**
～在宅医療での自然死～」

講師◎永井康徳(医療法人ゆの森 理事長)
在宅医療の普及と質の向上を目指す様々な取り組みやチャレンジを、率先して実行している「たんぽぽクリニック」の永井医師が話します。

定員◎120人(無料・事前予約不要・お誘い合わせのうえお越しください)

松山市 みんなの生活展2019

日程◎10月19(土) 午前10時～午後4時

会場◎大街道商店街1丁目～2丁目

「安全・安心に暮らせる社会」を実現することを目的に松山市が主催する行事に参加して、市民への広報を目的に専用ブースを設け協会理念の普及活動をおこないます。

徳島懇談会・茶話会

日程◎11月24日(日) 午前10時～12時

会場◎徳島市シビックセンター 活動室

徳島市元町1-24 アミコビル内

テーマ「**ミニレクチャー(内容未定)**
ホットな話題などとトーク

参加費◎500円(お茶代等)

お問い合わせは木下ファミリークリニック

(〒770-0942 徳島市昭和町4-22-8。

FAX088-625-0936、☎088-652-1045、

✉h-y-kinoshita@cam.hi-ho.ne.jp

リビングウイイルノート 作成学習会

日程◎10月4日(金) 午後1時半～3時半

会場◎支部事務所

河野京子さん(支部理事・介護支援専門員)に訪問介護の実態についてお話いただきます。LWと一緒に学び、自分のLWノートをつくりましょう。参加ご希望の方は支部事務局までご連絡をお願いします。

支部サロン

喫茶去だんだん

お茶を飲みながら、おしゃべりしましょう

日程◎11月1日(金)(12月はお休み)

趣味あれこれ会

絵手紙教室を楽しみましょう。無料。どなたでも歓迎。

日程◎10月18日(金)、11月15日(金)

(12月はお休み)

いずれも支部事務所で、午後1時半～3時半

四国支部 活動報告

リビングウイイル(LW)ノート作成学習会の一環として、6月に特別養護老人ホーム「梅本の里」(松山市北梅本町)、8月に社会福祉法人「ともの家」(松山市溝辺町)の小規模多機能ホームを会員有志で訪問し、同施設利用者の過ごし方などを見学しました。また7月には、医療法人「ゆの森」(松山市別府町)の一井美哉子看護師を支部事務所に招き、在宅医療に求められている、患者に寄り添うことと、それを満足させるための新しい仕組みについて学びました。



市民公開講演会

日程◎11月9日(土) 午後1時～4時

会場◎JEC日本研修センター江坂 大会議室

地下鉄御堂筋線江坂駅から徒歩1分

テーマ「**あの世までの道しるべ**
～リビングウイイルと人生会議 ホンマにわかってはりますか?～」

講師◎白山宏人(関西支部理事、大阪北ホームケアクリニック院長)

定員◎200人(無料・申込は関西支部へ)

第2回ならサロン交流会

日程◎11月10日(日) 午後2時～4時

会場◎奈良県文化会館第1会議室

テーマ「**診断からエンドオブライフまでの緩和ケア**～奈良の現状とこれから～」

講師◎四宮敏章(奈良県立医科大学付属病院緩和ケアセンター長)

定員◎50人(無料、申込は関西支部へ)

サロン交流会

日程◎12月5日(木) 午後1時半～3時半

会場◎関西支部

テーマ「**人生の完成期、どこで、どのように過ごしたいですか?**」

講師◎関本雅子(関西支部理事、関本クリニック理事長)

定員◎15人(無料、申込は関西支部へ)

リビング・ウイイル サロン

リビング・ウイイルのこと、協会について、何でも気軽に、お茶を飲みながら関西支部でおしゃべりしませんか?

日程◎毎月第2、4火曜日。午後1時～4時

10月8日、22日、11月12日、26日。

12月10日(12月は1回です)

関西支部 活動報告

日本ホスピス・在宅ケア研究会主催の「黒田裕子記念・神戸フォーラム2019」に参加しました。医師、看護師などの医療職や介護関係、ボランティアの市民の方などが参加する会なので、今回は「第4回関西リビング・ウイイル研究会」として企画し、テーマを「本人の意思が活かされる人生会議(ACP)とは?」にしました。

午前は、「リビングウイイル」「尊厳死、安楽死」「ACP」の全体像を整理するために、協会支部顧問の小澤和夫さんが「『人生会議(ACP)と尊厳死』～市民の立場で考え、書いてみよう～」というテーマで基調講演を行いました。午後は、病院や在宅医療など医療者の立場から「人生会議」を考えるシンポジウムはたくさんあるので、市民のみなさんが生活をする場である「介護」の立場から「人生会議」を捉えるのも必要ではないかとの意図で、「介護現場でリビングウイイルを表明するのに必要なこと」というテーマで進めました。

介護施設に長年勤務している森本文雄・関西支部理事の発表のあとに、ケアマネジャーがどの程度「リビングウイイル」「ACP」をおこなっているかのアンケート結果発表を、小宮悦子・関西支部理事、北村浩子・尼崎ケアマネジャー協会会長にいただきました。

午前、午後と合わせて約80人が参加されました。やはりリビングウイイル(本人の意思)が中心にないと医療者主体のACPになってしまうこと、介護現場でも様々な問題から十分にリビングウイイルを表明することができない環境にあることなどを、現実問題としてとらえ、より多くの方にもっと啓発活動をしていく必要があると痛感させられました。



医療相談
(通話無料)

0120-979-672

月・水・金曜日
午後1時～5時
(変更あり)

お電話お待ちしております。ご遠慮なく、どうぞ!

病気や気になる症状、特に終末期にかかわる不安や悩みについて、相談員(看護師)が丁寧にお聴きし、皆さま自身が主体的に考えて解決できるように支援しています。

医療相談は、協会が最も重視している会員向けの無料サービスですが、一般の方でもご利用いただけます。会員・未会員は確認させていただきます。お電話をお待ちしています。

協会宛メール(✉ info@songenshi-kyokai.com)でも受けつけております。

●住所を変更された場合はお知らせください

施設などに移って住所を変更される方が多くいらっしゃいます。会報や年会費の請求書などが戻ってきてしまいますので、住所を変更された場合は、すぐに協会に電話かFAX、メールでご連絡ください。3年間、年会費の支払いが滞りますと「自動退会」となってしまいますので、お気をつけくださいますようお願いいたします。

電話やメールでの相談・回答についての具体的なケースを誌面で紹介していくページです
基本的には相談員(看護師)がお答えしますが、顧問医のお力をお借りすることもあります。

新連載 電話・メール医療相談から

1

高齢の母、輸液を外すタイミングなどは？

相談

92歳の母のことで相談します。今年3月に左足ふくらはぎの打撲による浮腫で入院中に、背中と腰の痛みを訴え、腎臓がんが見つかりました。高齢であることから緩和ケアのみで医療用麻酔による疼痛管理をしています。認知症状もなく入院直前まで一人で自立した生活をしていたことから、現状を受け入れることができず、帰宅願望が強く、ストレスから食事が一気に減りました。

3月末に医師から中心静脈栄養を施術したほうが衰弱を防げるといわれ、承諾しました。並行して食事提供されていましたが、強いストレスから4月上旬に急性十二指腸潰瘍を発症し、吐血しました。その時点で食事が止められ、2週間後に療養型病棟に移動し、現在に至っています。寝たきり状態

とはいえ、中心静脈栄養による高カロリー輸液だけで数か月になります。何も食べていないので、ずいぶんやつれてきましたし、せん妄症状も出て、夢とうつつを行ったり来たりしています。痛みを訴えることはなく、ニコニコと笑いながら、支離滅裂ですが会話はできます。そんな母も、やがて意識レベルが低下し、深い眠りに入ったらその先は延命治療になると思うので、輸液は外してもらうよう医師にお願いしようと思っています。

輸液を外すことは問題ないでしょうか。そのタイミングはどのような状態の時でしょうか。高齢でがんがあり、中心静脈栄養だけで、あとどのくらいの生存期間が可能なのでしょうか。よろしくをお願いします。(T子さん、60歳代)

回答

顧問医Aから

病気療養中のお母さんとの良好で深い関係はよくわかりますし、病状について心配し、予後をお聞きしているのもよく理解できます。しかしこの文面だけでは、死期の判断は難しいですね。中心

静脈栄養は1年でも2年でも続けることはできますが、ある時期から感染を起こすこともあります。余命など予後については、主治医に単刀直入に聞いてみてはどうですか。

顧問医Bから

たしかに難しい判断ですね。しっかりしていた方にしてはストレスのたまり方が少し大きすぎるので、病院のメンタルな看護が不足していたような印象も受けます。寝たきりで意識もはっきりしていないようで、状態は終末期的になっているように感じます。がんの進行状況によっては、中心静脈栄養だけでも予想以上に寿命

が長くなることもあるかもしれません。現在の状況からは中心静脈栄養の「中止」は困難と思われるかもしれません。発熱その他何らかの理由で点滴を入れなおす必要性が生じた時に、「もう、新たに点滴をすることは止めてください」と言うことは可能と思われます。担当医とよく相談してみてください。

医療相談
(通話無料)

0120-979-672

月・水・金曜日
午後1時～5時(変更あり)

協会宛メール(✉info@songenshi-kyokai.com)でも受けつけております。

九州支部

☎ 092-724-6008 ✉ kyushu@songenshi-kyokai.com

第20回市民公開 講演会(おおいた)

日程◎11月10日(日)午後1時半～3時50分
(開場1時)

会場◎臼杵市民会館 小ホール
臼杵市大字臼杵72-83
(☎0972-63-7977)

テーマ「穏やかな最期を
迎えるために」

講師◎川野克則 (尊厳死協会おおいた理事・
オアシス第2病院院長)

テーマ「私たちが目指す
『ホスピス緩和ケア』」

講師◎井上 裕 (栄光病院院長)

定員◎200人(無料、予約不要)

お問い合わせは九州支部おおいた事務局(麻生)へ。☎0977-23-2345

遠賀中間地域 住民公開講座

日程◎11月4日(月)午後1時半～4時

会場◎福岡県芦屋町町民会館
遠賀郡芦屋町中ノ浜11-6
☎093-223-0731

講演1「住み慣れた家で安心して
療養するために
～最後まで過ごせる地域づくり」

講師◎白髭 豊 (尊厳死協会ながさき会長、白髭内科医院院長)

講演2 パネルディスカッション
「遠賀中間地域における
訪問診療のいまとこれから」

パネラー◎杉町圭蔵 (遠賀中間医師会おんが・
おかざき病院統括院長) ほか4人

定員◎300人(無料・要予約)

定員◎遠賀中間医師会

お問い合わせ先は、在宅総合支援センター(副田)へ。☎093-281-3100



くまもと県民フォーラム

日程◎11月30日(土)午後2時～4時

会場◎熊本県医師会館 2階大ホール
熊本市中央区花畑町1-13
☎096-354-3838

講演◎「アドバンス・ケア・プランニング
(人生会議)～概念と実践について～」

講師◎門岡康弘
(熊本大学生命科学研究部生命倫理学教授)

シンポジウム◎「自宅で看とる人生会議を開きましょう」

シンポジスト◎本庄弘次 (尊厳死協会くまもと
会長・本庄内科病院院長)、看とりを
おこなわれたご家族 長野秀紀氏

定員◎200人(無料・予約不要)

お問い合わせは、くまもと事務局(本庄内科病院内・今田)へ。☎096-368-2811

九州支部 活動報告

まるで上方漫才のような……

6月8日、「日本リビングウイイル研究会九州地方会」が長崎で行われました。第1部で満岡聰さん(日本尊厳死協会理事、さが会長)より「リビングウイイルについて」とのタイトルで、尊厳死協会の活動、リビングウイイルの現状、ACPについて解説していただきました。

第2部では「ピンピンコロリってできるの?～在宅看取りからアドバンス・ケア・プランニングを考える～」のタイトルで、大阪の劇団「ザイタク」の桜井隆さん(さくらクリニック)、白山宏人さん(大阪北ホームケアクリニック)をお招きしてお話を伺いました。がんや心臓疾患、認知症、脳血管障害によって病状の経過が異なるため、心構えや過ごし方が異なること、だから、それぞれに合わせた心構えをするために人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)が大切であること、それは「玉手箱」のように大事なことを、などを分かりやすく話されました。

また、過去3回行われた大阪での演劇の録画を参加者とともに視聴しました。その録画を見ながら、「在宅医は何をしてくれる?」「本人の意思確認はどうするの?」「救急車を呼ぶとどうなるの?」「一人暮らしだったら……」「死亡診断書とは?」「がんの終末期を家で過ごすのか?」などについて、多岐にわたって語っていただきました。

桜井さん、白山さんの軽妙な語りは、まるで上方漫才のようで、笑いながら、参加者の理解が進み、今後のリビングウイイル、ACPをまとめる際に、大いに役に立つのではないかと思います。白髭 豊(尊厳死協会ながさき会長、白髭内科医院院長)

ご寄付ありがとうございました（敬称略）

対象期間は、令和元年6月5日から令和元年8月30日までにご寄付いただいた方々です。

臼井京子	2,154	齋藤さよ子	20,000	鍋木チエ子	5,000	森 乃里代	540
本田昭子	500	青木安子	2,000	奥村素子	10,000	久米 壽	2,800
磯部ケイ子	8,040	小山千恵子	1,000	鍋木英枝	5,000	高口惟子	8,900
西 恵美子	20,000	富内雄二	10,000	寺澤秀浩・英子	1,000	大辻一則	3,000
伊藤經子	2,150	根本美真子	3,000	鈴木悦朗	7,650	三浦誠二	800
加瀬谷順子	5,000	寺脇みさ子	5,000	山田峯子	6,486	海老原正・ヒロ子	4,000
渡辺礼子	1,000	小柳文子	50,000	宮崎英子	357	匿名・千葉県	10,000
加藤哲夫・弘子	5,000	新田園子	14,730	作田絹枝	3,000	匿名・千葉県	100,000
吉沢文寛	2,000	朴 敬愛	30,000	西村圭子	3,000	匿名・東京都	5,000
荻原孝行・和子	3,000	武田淑子	5,562	関元園子	3,000	匿名・東京都	5,000
前田順子	6,700	池田孝一・みさ子	2,000	近藤和子	3,900	匿名・神奈川県	478
下村正昭・久良子	4,000	藤原佐和子	1,500	園田由紀子	1,000	匿名・静岡県	7,800
棚倉俊夫	2,800	橋上孝道	10,000	尾崎千代子	1,000	【北海道支部扱い】	
宮崎敏子	5,000	萩谷和彦	920	小澤國子	12,300	匿名	7,800
江本 新	6,700	池田洋美	10,000	村上朝子	1,000		

【お詫びと訂正】

前号174号の「四国支部扱い」徳水和孩子様からのご寄付を徳永和子様と誤記載いたしました。お詫び申し上げます。

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用下さい。切手でのご寄付もお受けいたします。いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であることをお書き添え下さい。

出版案内 日本尊厳死協会がお勧めする必読の書。（書店では扱っておりません）



人生の最期で迷わないために 尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく
説明しています。あなたの「？」に答えがあります。

- **がんの末期** 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す？
- **持続的植物状態** 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら？
- **腎不全** 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら？
- **救急医療** 日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは？
- **認知症** 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は？
- **老衰** 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か？

自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。
医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。

新・私が決める尊厳死 「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社

1100円（税・送料込）。書籍名、お名前、住所、会員の方は会員番号を明記。

代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して協会事務局（〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501）宛に。

LWの受容協力医師 第97報

2019年6月～2019年8月の間に
新しく登録なされた医師の方々です。

内:内科 循:循環器科 呼:呼吸器科 消:消化器科 呼内:呼吸器内科 消内:消化器内科 外:外科 整:整形外科 小:小児科 放:放射線科

リハ:リハビリテーション科 皮:皮膚科 肛:肛門科 泌:泌尿器科 心内:心療内科 脳外:脳神経外科 緩:緩和ケア科 乳腺外:乳腺外科

【会員医師は会とする】

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
江別すずらん病院	精・認知症	宮本 礼子 会	北海道江別市上江別442-15	011-384-2100
三和病院	乳腺外	渡辺 修	千葉県松戸市日暮7-379	047-712-0202
横浜市立みなと赤十字病院	緩和ケア内	鈴木 友宜	神奈川県横浜市中区新山下3-12-1	045-628-6100
埼玉慈恵病院	内・呼内	上石 修史	埼玉県熊谷市石原3-208	048-521-0321
西村ハートクリニック	内・循内・呼内・腎内・神内	西村 昌雄	埼玉県上尾市宮本町3-2 シティタワー上尾駅前202	048-778-2526
神山復生病院	内・緩	平田 敦子	静岡県御殿場市神山109	0550-87-0004
福島吉野スマイル内科・循環器内科	内	坂口 海雲	大阪府福島区吉野5-11-22	06-6147-4400
土本医院 土本ファミリークリニック	内・小・在宅	土本 薫	広島県尾道市向島町5900	0848-44-0246
妙好会 ときや内科	内	釋舎 龍三	広島県豊田郡大崎上島町沖浦1001	0846-63-0001
小武家放射線科胃腸科医院	内・胃腸・放	小武家俊哉	広島市中区銀山町11番27号	082-249-0041
土井内科神経内科クリニック	神内・内	土井 一可	広島市中区紙屋町1-1-17 広島MIDビル1階	082-242-7878
あかり会 おりづるクリニック	内・在宅	柳部 憲佑	広島市中区十日市町2-10-18	082-942-0033
榎木内科・循環器科医院	循・総内・在宅	榎木 俊彦	広島市中区江波南1丁目39-9	082-291-8101
原田リハビリ整形外科医院	整・リハ	原田 英夫	広島市安佐南区東野2丁目21-20	082-870-5555
銀杏会 石井内科胃腸科	内・胃腸	石井 英明	広島市安佐南区西原7-5-4	082-874-5511
古市クリニック	胃・肛・内・リハ	卜部 貴光	広島市安佐南区古市1丁目30-25	082-870-1993
メディカルパーク 野村病院	内・外・整・脳神	井上 秀樹	広島市安佐南区祇園2-42-14	082-875-1111
生仁会 福井内科医院	内・循・消・呼・放・小・在宅	福井 信之	広島市安佐南区長楽寺2丁目13-26	082-872-4114
たちばな会 斉藤内科医院	内・呼・消・リハ	斉藤 敏史	広島市安佐南区大塚西4-8-31	082-849-5750
登静会 中村内科医院	内	中村 真也	広島市佐伯区美鈴が丘西1丁目1ー1	082-928-2864
中谷整形外科	整	中谷 徳雄	広島市東区愛宕町9-17	082-261-0312
公仁会 榎殿順記念病院	総合・放	榎殿 敦	広島市西区横川新町8-21	082-296-0110
わかばクリニック	内・消・呼	佐々木 茂	広島市西区己斐本町1丁目9-20	082-275-2600
宇品神田クリニック	精	東方田 芳邦	広島市南区宇品神田1丁目8ー21	082-253-5344
田村医院	内・消	田村 裕幸	広島市南区宇品海岸二丁目12-25	082-251-4043
似島診療所	内・形	石光 秀年	広島市南区似島町字家下752-74	082-259-2515
原医院	内・循・小	原 豊	広島県呉市吉浦東本町1丁目7ー4	0823-31-0797
長寿会 あおぞら診療所	内・整・リハ	西野 猛	広島市安芸区中野七丁目22番11号	082-880-0030
晴生会 西山整形外科・胃腸科	整・胃腸	西山 賢治	広島市安佐北区白木町大字秋山2325-1	082-828-1223
加藤会 高陽中央病院	整・リハ	加藤 誓	広島市安佐北区落合5丁目1-10	082-842-0002
緑雨会 高陽第一診療所	内・神内・リハ	吉田 良順	広島市安佐北区落合1丁目14ー9	082-842-1177
恵正会 二宮内科高陽クリニック	内	中野 良規	広島市安佐北区落合5-24-8	082-841-5111
吉永外科医院	肛・外・胃腸	吉永 榮一	山口県宇部市錦町4-11	0836-21-6560

【お詫びと訂正】

前号（174号）の受容協力医師名簿（24ページ）の莊司輝昭医師の医療施設名と診療科が間違っていました。正しくは「立川在宅ケアクリニック」「緩和ケア・外」でした。訂正いたします。

【受容協力医師についてのご案内】

全国に1900人ほど登録しているLW受容協力医師のお名前は、協会各支部のホームページ（HP）で閲覧することができます。各支部HPへのアクセスは本部のHPからのリンクをご利用ください。**会員専用認証パスワードは「jsdd（半角小文字）」です。**紙に印刷した受容協力医師リストをご希望の方は、各支部にご連絡ください。ファックスか郵送でお送りいたします。

地域の
みなさんへ

リビング・ウィル「出前講座」はいかがですか

- ご依頼により講師を派遣します
- 会場のご用意をお願いします
- お問い合わせは支部までどうぞ

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-3818-6563
FAX 03-3818-6562
メール
info@sogenshi-kyokai.com
ホームページ
http://www.sogenshi-kyokai.com/
郵便振替口座
東京00130-6-16468

●北海道支部

〒060-0807
札幌市北区北7条西2丁目6
37山京ビル801
TEL 011-736-0290
FAX 011-299-3186

●東北支部

〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-12-39
旭開発第2ビル703号室
TEL 022-217-0081
FAX 022-217-0082

●関東甲信越支部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-5689-2100
FAX 03-5689-2141

●東海北陸支部

〒453-0832
名古屋市中村区乾出町2-7
正和ビル2階
なかむら公園前法律事務所内
TEL 052-481-6501
FAX 052-486-7389

●関西支部

〒532-0003
大阪市淀川区宮原4-1-46
新大阪北ビル702号
TEL 06-4866-6365
FAX 06-4866-6375

●中国地方支部

〒730-0024
広島市中区西平塚町2-10
TEL 082-244-2039
FAX 082-244-2048

●四国支部

〒790-0067
松山市大手町1-8-16
二宮ビル3F B
TEL 089-993-6356
FAX 089-993-6357

●九州支部

〒810-0001
福岡市中央区天神1-16-1
毎日福岡会館5階
TEL&FAX 092-724-6008

各支部HPへのアクセスは
本部HPからのリンクをご利用ください。

リビング・ウイル Living Will

(終末期医療における事前指示書)
(2017年7月改訂)

この指示書は、私の精神が健全な状態にある時に
私自身の考えで書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私
自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成
しない限り有効であります。

□ 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であ
り、既に死が迫っていると診断された場合に
は、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延
命措置はお断りいたします。

□ ただしこの場合、私の苦痛を和らげるために
は、麻薬などの適切な使用により十分な緩和
医療を行ってください。

□ 私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物
状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめ
てください。

以上、私の要望を忠実に果たして下さった方々
に深く感謝申し上げますとともに、その方々が私の要
望に従って下さった行為一切の責任は私自身にあ
ることを付記いたします。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わ
りが近づいたら延命措置を望ま
ないで、自然の摂理にゆだねて
寿命を迎えるご自分の意思を表
した「リビング・ウイル」を発
行、その普及に努めています。

現在11万人の方々が「リビン
グ・ウイル」を持ち、安心した
日々を送っています。自然のま
ま寿命を迎えることは、最期の
日々をよりよく生きることであ
り、今を健やかに生きること
につながります。

お友だちやお知り合いに協会
や「リビング・ウイル」のことを
お伝えいただければ願ってい
ます。

事務局から

会費の自動払込のご案内 希望者へご連絡ください

年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から自動
引き落とし)があります。利用には諸手続きが必要です。
ご希望の方は本部事務局までご連絡をお願いします。次の要
領で実施しております。なお郵便局窓口では申し込みません。

- 対 象** ▶ ご希望の会員
払 込 日 ▶ 会費払込該当月の28日(28日が土日
祝日の場合は翌営業日に引き落とし)
払 込 額 ▶ 会費相当額
手 数 料 ▶ 1 回の払込に162円(150円+税) の
ご負担があります
取扱 金融機関 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、
ゆうちょ銀行、農協含む)
領 収 書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印
字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可
能です。会報が緑色のビニール封筒で届きましたら年会費の
納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷して
あります。銀行振り込みの場合は会員番号(00を省く)も
記入して下さい。なお振込手数料は郵便局窓口が200円、
郵便局ATMが150円、コンビニが64円です。



『秋、いちめん』
今号の1枚

●表紙や「ひろば」「四季の歌」
の誌面写真からは、すでに秋が
立ちのぼっています。秋、秋、秋、
なわは、もう少し先。ところで今
年の夏は猛暑だったのか、異例
の不順だったのか、なんとも判
然としない夏でした。
そんな夏のさなか、「ルポ・受
容協力医師」で訪れた都立駒込
病院緩和ケア病棟のベランダに
は、炎天下のもと、可憐な花々が
静かに咲いていました。夏も終
わり、今は、秋の小さな花たちが
風に揺れていることでしょう。
田中桂子医師の穏やかな笑顔が、
がん患者さんたちの「こもれば
のような最後の日々」に、そっと
寄り添っていることでしょう。
さて全国8支部の「活動と報
告」のページを、今号は1ページ
増やしました。「お知らせ」や「報
告」があふれたのです。LW(リ
ビングウイル)とACP(人生
会議)のさらなる普及・説明な
どに各支部が知恵を絞り、活発
に活動している様子が、誌面か
ら伝わってきます。(郡司)

Living Will 目次

— 会報2019年10月 No.175 —

- 02 インタビュー
ノンフィクション作家
久田 恵さん
- 07 第8回日本LW研究会の案内
- 08 私の希望表明書
- 09 日本尊厳死協会の新体制決まる
- 10 LW受容協力医師制度の展望
ルポ・都立駒込病院の
田中桂子医師の活動
- 12 ●LWのひろば
- 14 ●連載「四季の歌」村祭
- 16 ●支部活動・報告
2019 秋～冬
- 23 新連載・電話・メール医療相談から
- 24 LW受容協力医師のリスト
- 25 寄付
- 26 事務局から／編集後記／目次
- 27 終末期医療における事前指示書／
本部・支部一覧
- 裏表紙 出版案内

協会会員:10万8275人
(2019年9月2日現在)

次号は、
2020年1月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

出版案内

日本尊厳死協会がお勧めする必読の書

在宅医療のすべてがわかる完全ガイド

さいごまで 自宅で診てくれる いいお医者さん

好評発売中

定価1000円(税込)
B5判・164ページ

週刊朝日ムック

2020年版

- 著名人インタビュー 杉田かおる 母を介護した4年半
- トップインタビュー 日本医師会・横倉義武会長
- 長尾和宏医師が解説「いい在宅医の探し方」



日本尊厳死協会副理事長
長尾和宏 医師



- 病院医療と在宅医療の違いは?
- 在宅医療を始める前の基礎知識/かかるお金

お求めは
お近くの書店、
ASA(朝日新聞
販売所)へ
お申し込み
ください。

朝日新聞出版ホームページ、
またはお電話でも
受け付けております。
TEL03-5540-7793
(直販担当、平日10~18時)

朝日新聞出版より直送の場合、
下記送料がかかります。

- 代金引換払い
(お電話での注文の場合)
- ・ご注文金額が2,500円(税込)
以上の場合、
送料300円(税込)/1回
- ・ご注文金額が2,500円(税込)
未満の場合、
送料800円(税込)/1回

※日本尊厳死協会では扱っておりません

在宅看取り件数がわかる

ここでしか読めない!

全国
リスト

2685診療所&病院

医療機関名	所在地	電話番号	種別	在宅医療 対応	看取り 件数	うち在宅 看取り	うち在宅 看取り	うち在宅 看取り	うち在宅 看取り
北海道									
札幌麻酔クリニック	札幌市中央区大通西16-1-10	011-633-2525	通	○	160	16	10	6	
ごう在宅クリニック	札幌市中央区南1条東2-8-2	011-802-7823	通	○	313	35	28	7	100
静明診療所	札幌市中央区南14条西18-5-33	011-215-5069	通	○	289	53	29	24	124

このリストから
「いい在宅医」が見つかる!

日本尊厳死協会の出版案内

最期の望みをかなえる



リビングウイルノート

私の望む「痛くない死に方」が
ここにあります。

この「リビングウイルノート」には、
あなたの「リビング・ウイル」を入れるスペースがあります。
是非お手もとにセットで!!

もしもの時にそなえ、こころの「生前整理」を

発行:ブックマン社 A4判104ページ

好評
発売中!

協会事務局でお求めできます。1100円(税・送料込)。書籍名、お名前、住所、会員の方は会員番号を明記。
代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に。